

# 日本高齢期運動連絡会ニュース

発行責任者 藤谷 恵三 発行所 日本高齢期運動連絡会  
〒164-0011 東京都中野区中央5-48-5 シャンボール中野504号  
Tel/fax03-3384-6654 E-Mail nihonkouren@nifty.com  
http://www.nihonkouren.jp

発行：毎月1日  
2017年8月1日  
No.324



第5回山形県高齢者大会記念講演：八法亭みややっこさん＝三川町なの花ホール（記事P4）

## 「<sup>ぬちどうたから</sup>命どう宝 沖縄に 全国に 憲法が輝く平和な未来を」

### 7・25「沖縄実行委員会第7回会議」開く

#### 沖縄実行委員会

第31回日本高齢者大会in沖縄・沖縄実行委員会は7月25日、とよみ生協病院会議室で沖縄実行委員会第7回会議を開きました。



#### 報告事項

前回委員会の会議報告と各地域実行委員会報告を受けました。各地域実行委員会で行った広告賛同金や参加者確保についてそれ

ぞれ報告がありました。また、各地域市町村への後援依頼の進捗状況など、まだ依頼ができていない市町村についても急ぎおこなう事で確認しました。参加集約については、8月22日(火)、8月31日(木)、9月30日(土)、10月13日(金)を目途に集約報告をおこなう事を確認しました。賛同広告については、8月10日(木)を申込み期限として若干の調整はおこなう事にし

ました

議題1、各専門委員会からの報告提案について①企画委員会(全体会、分科会、講座、夜の企画など、企画提案を実行委員会におこない、確認した企画の実務作業調整など)②組織委員会○第3回組織委員会会議報告と7月20日のプレ企画の報告がありました。③財政委員会○第3回財政委員会会議報告と広告賛同金などの目標額の確認、各地域実行委員会ごとの目標金額の指標について報告提案がありました。

2、各団体の参加目標について○前回、前々回議論となった団体ごとの目標については、地域実行委員会と加盟団体それぞれで目標値を定め、成功を目指して取り組むという観点からそれぞれの団体目標を確認しました、

3、大会へ向けた作業の進捗状況について

○現在の取り組みや作業など進捗状況を確認しました。計画よりも1~2ヶ月作業が遅れている部分もありますが、残り3ヶ月それぞれが力を出し合つて大会成功を目指すことを確認しました:

4、全体会および辺野言集会の企画について○1日目全体会、2日目講座・分科会、辺野古集会のプログラムなど意見を出し合い若干の修正意見を入れ確認とします。今後はプログラムを基に具体的な準備作業を進めます。また、要員配置(案)について会場と現地含め確認作業をおこない、次回会議で提案できるように進める事を確認しました

5、その他

## つどいの成功をバネに 本番へつなげよう

### 高齢者大会成功へプレ企画

7・20「日本高齢者大会in沖縄」を成功させる沖縄県のつどい

沖縄実行委員会



日本高齢者大会in沖縄・沖縄実行委員会は7/20に「『日本高齢者大会in沖縄』を成功させる沖縄県のつどい」を開催し、加盟団体はじめ地域実行委員会や医療生協職員など約100名の参加がありました。

オープニングは、本番でも披露していただく予定の「沖縄のうたごえ協議会」の皆さんによる力強く素敵なおハモニーで幕が開け、吉田務氏(沖縄大会副実行委員長・年金者組合)による開会あいさつの後、講演に移りました。

今回、講師に2013年大会の三重県高齢期運動連絡会事務局長・日本高齢者大会中央実行委員会事務局次長の寺崎由郎氏を迎え、テンポの良い三重弁で沖縄大会成功に向けて三重の経験を語っていただきました。

実際に三重が大会を経験したことで、その後の高齢期運動に繋がり、地域そのものが元気になったと話されました。

その後、取り組みが進んでいる2地域実行委員会(北部・豊見城)にこの間の経過と報告を行ってもらい、知念事務局長の行動提起

で参加者の意思統一を図りました。  
今後は、各地域での取り組みが重要です。自治体訪問・広告賛同依頼など、まだのところ

はアップテンポで進めていきましょう。  
(沖縄実行委員会ニュース第7号より)

## 第31回日本高齢者大会in沖縄成功に全力を 7・10「高齢期運動推進事務局団体会議」

### 日本高齢期運動連絡会

日本高齢期運動連絡会は7月10日、中野事務所で、12団体と事務局合わせて16人の出席をえて7月度高齢期運動推進事務局団体会議を開きました。



協議事項1) 第31回日本高齢者大会in沖縄の準備状況と各県の取り組みについて沖縄実行委員会の準備状況について知念沖縄実行委員会事務局長より報告がありました。

#### ①各地域実行委員会および準備会の進捗状況

- 北 部：5/17(水)地域実行委員会結成
- うるま：6/21(水)地域実行委員会結成
- 中 部：7/3(月)地域実行委員会結成
- 那 覇：6/7(水)地域実行委員会結成
- 豊見城：6/11(日)地域実行委員会結成
- 南 部：6/2(金)地域実行委員会結成
- 宮 古：調整中(事務局にて)
- 八重山：調整中(事務局にて)

#### ②各専門委員会について

#### ③第6回沖縄実行委員会報告、財政物品販売について

中山中央実行委員会事務局長より、この間の沖縄オルグ報告、沖縄実行委員会関係報告、各県の参加の取り組み状況と強化点について報告、中央実行委員会としての取り組みについて報告があり、○全体会のプログラム・辺野古集会の進行等、○地域連絡会づくり分科会について、○後援、挨拶をとるために ○中央実行委のオルグについて提案があり協議しました。

2) 第26期日本高齢期運動連絡会総会の取り組み状況について、藤谷日本高連事務局長より代表委員の選出について提案がありました。

#### 3) 大会記念Tシャツの件

県にアンケートで確認してから企画するかどうか決める

### 日本高齢期運動連絡会の代表委員を決定

5月の第26期日本高齢者運動連絡会総会で代表委員制度を強化することが決定されましたが、それに基づいて代表委員選出団体で機関決定が行われてきました。各団体からの報告を受け、第26期7月度高齢期運動推進事務局団体会議で、下記の方々为代表委員として確認されましたのでご報告します。(順不同)

#### (1)金子民夫氏

(全日本年金者組合中央執行委員長)

#### (2)林 泰則氏

(全日本民医連事務局次長)

#### (3)松本弘道氏

(日本医療福祉生活協同組合連合会常務理事)

#### (4)小嶋満彦氏

(東京高齢期運動連絡会会長代行)

今期の代表委員の役割は、

#### (5)厚労省への高齢者要求の提出と継続的交渉の実施

#### (6)第31回日本高齢者大会in沖縄の成功と次回以降の大会開催地等の検討

#### (7)高齢期運動の地域連絡会づくりの推進

#### (8)2.1中央学習集会の歴史的成功

#### (9)年末の高齢者予算要求の提出と交渉

# まちから村からの連帯で一人ぼっちの高齢者をなくそう 憲法を活かし、今こそ人間らしく生きるために手をつなごう

## 5・14 「第5回山形県高齢者大会in三川町」500人超え大盛況

### 山形県高齢期運動連絡会

山形県高齢期運動連絡会は、第5回県高齢者大会を庄内平野の三川町なの花ホールで田植えの最盛期の中、県内各所より多くの参加者を迎え開催しました。



【第1分科会 鶴岡協立病院 堀内院長】



【第2分科会 鶴岡市議員 加藤鉦一さん】

#### 1)4つの分科会

午前中は『健康寿命21世紀養生訓』、『公共交通・交通弱者の足の確保』、『老後を考える年金問題』、『総合事業から見る高齢期の過ごし方』の4つの分科会が開催され、熱心な討議と高齢者の集う場所づくりなどの取り組みが多様な形で報告発表されました。

「しあわせとは?」とは、「健康について」改めて考えさせられ「まごこはやさしい」という食事を実践したい」という決意と健康寿命について学んだ。24年前から協同組合で食事会を開催し年間1,200人に食事を提供し集



【第3分科会 年金者組合鶴岡支部長 佐藤守さん】



【第4分科会とかみ組合員施設責任者 温井さん】



【オープニングでの羽黒高校吹奏楽部のみなさん】

う場所を作ってきていたなどが報告され感動した。また地域で町内会規模での集う場所づくりが進んでいることに勇気をもらった。総合支援事業に不安と地域の中で支え合うことなしに生きてゆけないことも学んで大いに勉強になった

#### 2)全体会

お昼に三川町特製の弁当が配られ大変おいしいと評判でした、物産展は書店も含め店舗が店開きし、生協店舗のとち餅、糸蔵(いと

くら一障がい者施設)のパン・せんべい菓子・小物工芸品、福祉生協の東日本震災支援海産物・とちせんべい・桶・こぎん刺しコースター・月山焼の陶芸・須田手芸などが出店しほぼ完売という盛況ぶりでした。

オープニングに羽黒高校吹奏楽部が出演し、60人を超える部員の演奏に(高齢者のために歌謡曲を数曲入れ演奏—歌謡曲を演奏させては日本一との評判)大喝采でした。

大会行事では、高齢者大会実行委員長の武田道隆年金者組合委員長の挨拶に始まり、地元三川町阿部誠町長の熱烈歓迎の挨拶があり、続いて山形県知事吉村美栄子知事の祝辞を小野真哉庄内総合支庁長が挨拶しました。

第5回山形県高齢者大会決議を佐藤匡子県副実行委員長が提案し万雷の拍手で決議されました。また、分科会のまとめの報告と県連絡会の取り組みについて松浦事務局長が①第31回日本高齢者大会in沖縄に県代表団として50人以上組織する。②沖縄の闘いに連帯し募金活動を強める。(目標30万円。当日の大会で7万8000円の募金が寄せられました。)③県内各地に高齢期運動連絡会を作り、ひとりぼっちの高齢者をなくし介護悲劇一掃の提案をし、大きな拍手で確認されました。

### 3)記念講演

「くらしを守り平和を志向する日本国憲法」  
—歴史から学ぶ— 八法亭みややっこ

今日で憲法話が170回を数え、山形県では5回目です。4年間で土日祝日だけで170回ですよ! からだにムチ打って喜んできました。今日はしっかり学習しましょうと高齢者に檄を飛ばし憲法話に入りました。居眠りする人もなく真剣に話に聞き入っていました。参加者の感想は、わかりやすい話で大変良かった、自民党の憲法草案の狙いについてわかると同時に寒気を催した、今後の取り組みに役立たいなどなど多くの感想が寄せられました。

### 4)まとめと閉会

最後に地元実行委員長の吉野文夫会長が、①地元の三川町、なの花ホールの皆さんに感謝の拍手、②一日時間を取って高齢者大会に参加された参加者の皆さんに激励の拍手、③大会を準備された大会事務局の皆さんにお礼の拍手、三つの拍手で大会を締めくくりました。

第31回日本高齢者沖縄大会成功に向けて取り組みを一層強めようと玄関に大きな募金箱と署名簿が置かれ訴えられました。

## 後期高齢者医療保険料の相談会と 「不服申請」に共同して取り組もう

### 神奈川県高齢期運動連絡会

#### 保険料の値上げが1万人以上に

神奈川県社保協と年金者組合神奈川県本部、神奈川県高齢期運動連絡会の3団体は連盟で「後期高齢者医療保険料相談会開催と不服申請に共同して取り組もう」と呼びかけました。

後期高齢者医療制度を強行したとき、政府は、「姥捨て山だ・差別医療はやめろ」の大反撃にあい、その批判を和らげようと保険料の「特例軽減措置」をおこないました。

「特例軽減措置」が今年から基本的に廃止されます。

3月末に開催された神奈川県広域連合議会

で、「対象者約90万のうち約11万人が値上げされる」と明らかにされました。

6月末から7月にかけて「保険料の通知」が神奈川県広域連合議会から加入者に届いています。しかし、3年間かけて徐々に値上げされるため、「保険料の通知」で気がつく人は僅かです。8月の年金受給日に銀行や郵便局で引き落としをして、「あれ、年金額がまた減っている何故だろう」など、はじめて気づくことになります。

こうした状況を踏まえて3団体は…

①各地域社保協と年金者組合の支部が話し合っ

て「相談会」の日時を設定しましょう。  
②「後期高齢者医療制度とは？。不服申請書類の書き方」などの学習会を開きましょう。  
③各地で「不服申請者」を募り、地域ごとに集団で広域連合に提出しましょうと呼びかけ

ています。

それぞれの地域で団体間の共同で取り組みを具体化しましょう。

「輝け高齢期」 第263号より

シンポジウム

## 男性高齢者を先頭に 東京にどんぐりから育てて、常緑広葉樹の「いのちの森」をつくろう！ 「東京にどんぐりから木を育てて森をつくろう」実行委員会

○世田谷区役所ホールで保坂世田谷区長、101名の参加者でシンポジウムを開催

7月15日、世田谷区、世田谷区社協などの後援を受けて、「東京に、どんぐりから木を育てて森を作ろう」シンポジウムを実行委員会主催で世田谷区役所プライトホールにおいて開催しました。昨年、保坂世田谷区長にお願いし、常緑広葉樹を植え、育てる活動に同意を得て、区長も参加して開催の運びとなりました。

○防火・防災、環境保全、高齢男性の社会参加めざして木を植える

実行委員会では3つの課題を実現するために常緑広葉樹を植え、育てることを提案しています。

- 1) 防火・防災能力の高い常緑広葉樹を植えて、首都直下地震をはじめ地震等による火災や水害から人のいのちを守り、被害を軽減する。
- 2) 常緑広葉樹を植え、育て、東京の水、土地、環境をまもるとともに、温暖化を防止する。
- 3) 高齢の男性を中心に常緑樹を植え、育てる。孤立予防めざして男性の仕事づくり、居場所づくりをめざすとともに、世代間交流を進める機会づくりにする。

○防火・防災のために23区に常緑広葉樹を植える

首都直下型地震などさまざまな災害が心配される今、東京にシイ、カシ、タブなどの常緑広葉樹を植えることは、防火・防災に役立ち



多くの都民の命を救います。地震が発生すれば「死亡者1万人」という予測が国から示されていますが、火災の専門家の室崎益輝氏（元日本火災学会会長）は「予測が甘すぎる」、「1ケタちがう」と言います。また常緑広葉樹を育てる活動をいのちや財産、わがまちを守るための自発的な市民運動にすることが大切だと思います。木造密集地域の多い「環七道路」沿いに運動を広げたいと思います。

○この夏も全国で35度以上の真夏日が続きます。空気に含まれる二酸化炭素が激増し、大気の温度を引き上げています。常緑広葉樹は芝生の30倍の酸素を生み出し、温暖化の防止に役立ちます。

○超高齢社会で一人ぐらし高齢者が都市部で激増します。高齢者の孤立が深まり、孤独死が年間3万人から20万人になるという予測もあります。高齢男性の社会からの孤立に対する有効打がまだ見当たりません。サロンでおしゃべりするのも苦手です。植樹・育樹、農作業、公園の管理などの対自然の活動は高齢男性にはうってつけの活動です。木を植え、育て、見守る活動を世代を超えてとりくみ、

安心のまちづくりを進めましょう。

○東京に、23区に木を植えるはじめをシンポジウムで確認

とりくみのネックは「植える場所がない」ということです。肝心なのは、一つでも実例ができること。植える活動を市民が始め、行政にとりくみを求め、協同してとりくみを進めましょう。世界中に4,000万本常緑広葉樹を植えている横浜国大宮脇昭名誉教授に支援と指導をお願いし、その後継者鈴木邦雄先生（前横浜国大大学長）もシンポジウムで協力を約束頂きました。また、保坂展人世田谷区長もとりくみに賛同いただきました。よびかけ人の

岸井成格氏（NPO森びとプロジェクト委員会理事長・毎日新聞特別編集委員）からはビデオメッセージ、吉原毅氏（城南信用金庫顧問）から連帯のあいさつを頂きました。これからどんぐりを育てて、常緑広葉樹を植え始めます。みなさん、まちと心に木を育てましょう。

※よびかけ人は宮本憲一氏（大阪市大名誉教授、前滋賀大学学長）、日野秀逸氏（東北大学名誉教授、前経済学部長）など

シンポジウム実行委員会事務局長  
東京西部保健生協 理事長 吉岡尚志

#### 事務局より

〈第31回日本高齢者大会in沖縄 移動分科会コースが2つになりました〉

移動分科会は、当初1コースで企画しておりましたが、見学していただきたい場所がたくさんあり、3時間で回りきることが難しいということで、この度、2つのコースに分けました。

- ・Aコース 「普天間基地・チビチリガマ」コース 定員45名
- ・Bコース 「嘉手納基地・シムクガマ」コース 定員45名

※移動分科会は大会参加費とは別に特別参加費2,000円（当日払い）

※事前申し込み必要 申し込み受け付けは9/1より 中央実行委員会へ

〈2日目のバス運行についてご案内〉＝沖縄以外の県対象

第2日目29日の午前企画終了後、バスを確保していない県・個人を対象に

沖縄国際大学・1時発～2時・辺野古頼たけの浜～集会終了後出発～那覇市内または那覇空港・4時半から5時ごろ のバスを配車します（有料・料金未定）。

県ごとに電話またはfaxまたはメールで中央実行委員会まで申し込みをお願いします。

〈大会成功への旺盛な資金活動を〉 :

取扱商品

①泡盛マイルド瑞穂(25度)720ml 販売希望価格 1,600円＋消費税128円＝1,728円

（送料別）12本単位でお申し込みを 取扱い：瑞穂酒造 098-885-0202

②瀬長亀次郎「不屈館」Tシャツ 販売価格 2,160円（送料別）

取扱い：辺野古ブルーウェア100万着普及運動 080-4170-3133

②シークワサー果汁（沖縄県産）300ml 販売希望価格 1,000円（送料込）

1ケース12本入り・ケース単位でご注文を 取扱い 沖縄実行委員会 098-850-8041

\*都道府県高運連・団体に申込書をお送りしています。都道府県高運連・団体を通じてお申し込みください

〈中央実行委員会から 早めの参加費納入のお願い〉

6月20日の総会で確認された沖縄大会の参加要項では、参加申し込みの第一次締め切りは9月22日、第二次締め切り10月6日となっています。

各県ではツアー企画定員によって既に参加者が確定しているところもあると思います。もうすでに参加者が確定している場合、9月22日を待たず、早めの申し込み（＝「参加申込書」に各県・団体ごとに申し込み）をお願いします。参加費についても参加者からご集金いただき、早めの送金をお願いします。例年に比べ大会時期が遅いため、大会関連諸支出により中央実行委員会の財政が厳しくなっており、ご協力をお願いします。

各都道府県高齢期（者）運動連絡会 御中

2017年8月4日  
日本高齢期運動連絡会  
第31回日本高齢者大会in沖縄中央実行委員会

第31回日本高齢者大会in沖縄 第8分科会を成功させるためのご協力をお願い

10月28.29日開催の第31回日本高齢者大会in沖縄の成功のためにご努力頂いている事に感謝いたします。

今回のin沖縄大会は、第30回in東京大会の成果を引き継ぎ発展させることを目指しています。

同時に日本高連第26期総会は、26期の活動方針の中で、「3) 地域の高齢者の実態を知り、各地で社会保障を守る活動を重視します。」「4) 地域の高齢者の要求を実現する地域連絡会づくりを進めます。」という、地域における取り組みを強める方針を確認しています。

これらの事をふまえて、中央実行委員会は第31回日本高齢者大会in沖縄の分科会の中に、「第8分科会 まちから村からの連帯をつくる高齢期運動地域連絡会づくり」を設けました。また、6月には、各県連の活動実態を報告して頂くなど、地域連絡会づくりを含めて連絡会の活動の状況を報告して頂きました。

in沖縄大会の第8分科会では、これらの結果も含めて報告し、日本高連と各県連絡会が協力して、地域連絡会づくりに向けて前進する第一歩にしたいと考えています。

そのために、各県連絡会が次の準備をしてin沖縄大会の第8分科会にご参加下さるようお願いいたします。

#### 記

1. 9月末までに本部事務局に届けて頂きたい資料
  - 1) 年次総会を開催している県連は、直近の総会議案書または決定集
  - 2) 会則を定めている地域連絡会があれば、その会則の写し
  - 3) 活動方針を持ち予算を組んで活動している地域連絡会があれば、その写し
  
2. 第31回日本高齢者大会in沖縄の第8分科会について
  - 1) 各県連の代表が参加するよう努力して下さい
  - 2) 各県連が、地域連絡会づくりについて発言できるよう準備して下さい

以上

#### 【連絡先・資料送付先】

日本高齢期運動連絡会  
〒164-0011 東京都中野区中央5-48-5-504

Tel/fax 03-3384-6654

問い合わせ先は、日本高連代表委員 小嶋満彦 携帯 090-5825-5835です。